資料２

第４回審議会意見への対応・考え方

1

委員名	鈴木委員
大分類	基本計画
小分類	分野別まちづくりの方向性
施策の柱	2-2　適切な医療提供体制を維持する（医療）
施策	施策の柱の方向性
意見	これまで、「恩恵」という言葉はあまり使わなかったイメージがある。「サービスを提供する」といった言い方をしていたと思う。
回答	島田市地域医療基本条例では、「医療従事者が疲弊していくといった社会問題」を踏まえ、「日頃から自らの健康づくりを心掛けることにより疾病を予防していくことに加え、医療機関への適正な受診を心掛け、医療従事者に対し感謝の念を持つなどして信頼関係を築くよう努めることが市民一人一人に求められている。」との意識の下「全ての市民が将来にわたり安心して必要な地域医療の恩恵を受けることができる体制を整備する」とあります。 島田市地域医療基本条例が市民と共に考え立案した条例であることから、地域医療に関する施策の柱の方向性でも、この条例の主旨を尊重し、本条例の表現を引用したものです。

2

委員名	森委員
大分類	資料２　前回審議会意見への対応
小分類	№18
意見	回答に「島田空襲被爆者」とあるが、「被爆」であっているか。「被災」ではないか。
回答	「被爆」は爆撃によって被害を受けること、「被災」は、自然災害や事故によって人や地域が受ける損害や影響のことです。

3	
委員名	桒原委員
大分類	全般
小分類	政策の方向性、施策の柱の方向性、施策とその方向性
意見	「政策の方向性」「施策の柱の方向性」「施策とその方向性」と、どれも方向性のため、どこまで読み進めれば具体的な内容にたどり着けるのか分からず、難しい。 政策→施策の柱→施策と具体化していくのだと思うが、入違っているように感じる部分もある。 具体的な取組を記載しない理由は理解できるが、市民の目線で見ると分かりにくいのではないかと感じる。
回答	第２次総合計画では具体的な取組まで記載していたが、第３次総合計画は変化の激しい社会情勢等へ対応できるよう、具体的な取組を包含する方向性を記載している。 個々の方向性記載については、具体的な取組が包含して読み取れるよう適切な表現を使用しています。 なお、具体的な取組・事業については、毎年度策定する実施計画や個別計画に位置付けてまいります。

4	
委員名	鈴木委員
大分類	基本計画
小分類	ＳＤＧｓ
意見	各施策の柱にＳＤＧｓのマークがあるが、これについての説明はどこにあるか。 P.50 の「島田市におけるＳＤＧｓ」の説明だけでは、つながりがよく分からない。
回答	今回配布した資料では、P.51 が未記載になっているが、第２次総合計画 P.56～57 のようなページの見方を入れる予定です。 そこで、第２次総合計画 P.57 右上のような説明を記載することを考えています。

5	
委員名	鈴木委員
大分類	基本計画
小分類	評価指標
意見	全体指標「島田市を好きな市民の割合」は第２次総合計画から継続しているが、めざそう値は継続しているものとそうでないものがあるのか。
回答	施策の柱が 32 あり、それぞれ１つのめざそう値があるので、全部で 32 指標あります。 新たな柱には新しい指標をたて、継続する柱では継続した指標としています。

	6
委員名	鈴木委員
大分類	基本計画
小分類	評価指標
意見	毎年の結果を確認して、成果が上がらないところには、例えば、翌年より予算をつけるなどの対応をするのか。
回答	毎年実施している市民意識調査等により、取組の成果を評価し、その評価結果を踏まえ、実施計画を策定し、次年度の予算編成に反映させていきます。

	7
委員名	甲賀委員
大分類	基本計画
小分類	（第２次総合計画後期基本計画の「がんばるポイント」）
意見	第２次総合計画後期基本計画には「がんばるポイント」があるが、今回はない。 これは、後期の計画だから、特にがんばって取り組むものということで記載があったが、今回は前期の計画なのでないという理解でよいか。
回答	第３次総合計画の策定方針として「人口減少の影響と対応」、「持続可能なまちづくり」としており、人口減少対策を掲げる「総合戦略」の内容を重点プロジェクトとして位置付けることとしていました。 しかしながら、６月 13 日、国において「地方創生 2.0 基本構想」が閣議決定されたため、国が策定する総合戦略を勘案し、新たな総合戦略を策定することとしたため、総合計画における重点プロジェクトについては無くすこととしました。

	8
委員名	山本委員
大分類	基本計画
小分類	分野別まちづくりの方向性
施策の柱	6-2　未来を見据えた経営に取り組む中小企業を育てる（中小企業支援）
施策	1　未来を見据えた経営に取り組む中小企業を応援します
意見	「事業継続」という文言の中に「事業承継」も含んでいるとの説明であるが、「事業承継」は軽く考えていい課題ではない。「事業承継を含む事業継続」などでも構わないので、「事業承継」という文言は掲載すべきである。
基本計画の修正	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正を行います。 【修正後】 〇施策の柱 6-2 　産業支援センター「おびサポ」を支援拠点として、ＤＸ・ＧＸといった経営革新の後押しやビジネスマッチング機会の創出などにより、新たな事業展開を支援するとともに、事業承継や業態転換等をバックアップし、企業における安定した事業継続の実現を目指します。 〇施策の方向性 6-2-1 ・商工会議所、商工会、金融機関等との連携により、中小企業者等の事業承継や業態転換等をバックアップし、事業継続の安定化を図ります。

	9
委員名	松浦委員
大分類	基本計画
小分類	分野別まちづくりの方向性
施策の柱	6-4　地域の特色を活かし、付加価値の高い農林業を進める（農業・林業）
施策	1　次の世代へつながる「稼ぐ農林業」を目指します
意見	「稼ぐ農林業」という言葉は強い言葉だと思っている。 付加価値を高めることで稼げる農林業を目指すということを言っているのか。 面積の増加を指標に置くのであれば、長期的な視点で捉える必要があり、前期基本計画で目指す４年後に数字として表れるのか。従事者数などを置いた方が数字に表れのではないか。
回答	「稼ぐ農業」を実現するには、低コストで経営できる事業環境づくりにより限られた労働力でも利益を出せる産業構造にしていくことが求められ、農地の集積・集約化や森林施業の集約化により稼げる基盤整備を進めることが必要となります。 　このため、指標についても農地集積面積や森林整備面積を掲げています。

10

委員名	小塚委員
大分類	基本計画
小分類	分野別まちづくりの方向性
施策の柱	6-1　地域で活躍する人を増やし、地域経済を発展させる（人材確保）
施策	3　働きやすい職場づくりを支援します
意見	シェアオフィスの開設について、県外・市外を対象とすると、「設置の支援」というよりも、「誘致」という文言が合っているのではないか。
回答	「誘致」は、市内への本店・支店・生産拠点等の設置（新たな雇用を生む） シェアオフィスの開設　市内事業者の多様な働き方の実現のための場をつくる ⇒コスト削減、事業状況に応じたオフィスの増減、拡大縮小 ⇒新たな雇用は生まない （郊外型）サテライトオフィスの設置の支援　市外（都市部の）企業が既存社員の働き方、ワークライフバランスの実現のために市内オフィスを設置する ⇒新たな雇用は生まない 「誘致」という言葉は、「企業誘致」（施策 6-2-2 に記載）のように、比較的大きな本社・本店機能や生産拠点などを市内に設置（設備投資）していただくことにより市内多方面に経済的な効果がもたらされる場合に、「誘致」自体に多方面に大きな経済波及効果があることから、こちらから積極的に勧誘し設置を働きかける意味で使い分けをしています。 「シェアオフィスの開設」については、小規模な企業向けの部分賃貸物件など小規模な設備投資のイメージで、設備投資による経済波及効果は限定的でありますが、サテライトオフィスの設置により「多様な働き方ができる環境」を形成することに資することから、設置しようとする事業者があれば支援するという意味で「設置」としています。

	11
委員名	杉本委員
大分類	基本計画
小分類	分野別まちづくりの方向性
施策の柱	7-1　便利で魅力あるまちをつくる（都市計画）
施策	2　地域特性に応じた拠点の整備を推進します
意見	前回の審議会での意見（※）は、「KADODE OOIGAWA からどうやって人を動かすかを示したほうが良いのではないか」ということを意図した質問だった。 観光交流のハブとして位置づけられているのは承知の上だが、実際にそこから市内にどれくらいの人流があるか把握できるか。把握するのが難しいのであれば、どのようにしてハブとしての機能するのか。 ※前回の審議会での意見 KADODE OOIGAWA の地域だけ稼ぐことができても、市民に活性化の恩恵があるかは不明瞭。企業等の誘致による税収増は見込むことができるが、観光客が来る場所は限定的であり、「稼ぐ拠点」として市内全体にその効果が波及するような役割を担うことはできているのかわからない。
回答	KADODE OOIGAWA からどのくらいの人数が動いているかは、静岡県が調査している人流データを参考にしていますが、各柱においては、個別具体的な成果ではなく、代表的な指標のみを設定した「成果指標」を掲載しています。 加えて、併設の TOURIST INFORMATION おおいなびにおける、「大井川でやるべき 100 のこと」パンフレットの配布による市内への周遊促進などの個別具体的な取組については、個別計画に掲載してまいります。 また、KADODE OOIGAWA は、年間約 92 万人が訪れる、島田市において最も集客力のある施設であり、この来館者に対して市内への周遊を促して消費を拡大していくことで、KADODE OOIGAWA のみならず、関連する産業における消費や生産量の増加にもつながります。こういった経済波及効果を市内全域に広げていくことで、移住や定住人口の増加、地域の活性化など、「笑顔あふれる安心のまち島田」の実現につなげるため、KADODE OOIGAWA を拠点とした市内周遊の促進に力を入れていきたいと考えています。

12	
委員名	杉本委員
大分類	基本計画
小分類	分野別まちづくりの方向性
施策の柱	8-1　脱炭素社会の実現に挑戦する（脱炭素社会・循環型社会）
施策	1　エネルギーによる環境負荷を低減します
意見	CO_2の削減目標は、一般的にどれくらいの量なのか。 例えばプラカップを１個減らすことで何グラムのCO_2が削減できるのかを示したうえで、個々人のCO_2の削減目標を示すと分かりやすいのではないか。 あまりにも削減目標が大きすぎると、企業が取り組むべきものとなってしまう。 参考となる資料があれば「●●を参照」などの注釈があれば良いのではないか。
回答	ご指摘いただいた内容ついては、総合計画の巻末資料に個別計画との関係性を掲載することを検討してまいります。 なお、総合計画では、市民個々人の取組だけでなく、事業者や関係機関など様々な主体の取組や市の総合的な施策により、総合的な成果をもたらすことを位置付けています。 また、「島田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」において、産業や運輸部門等と併せて家庭部門として温室効果ガスの排出量削減目標を掲載するとともに、「島田市環境基本条例」に基づき、毎年公表している「島田市環境報告書」において、一般廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量や家庭部門を含めた部門ごとの温室効果ガス排出量を掲載しています。

13	
委員名	杉本委員
大分類	全般
小分類	2050 年未来の姿（表紙裏のイラスト）
意見	４年前に策定した第２次島田市総合計画後期基本計画のイラストを使い続ける点について疑問を感じる。
回答	表紙裏のイラストは、当時の高校生が「2050 年の未来の姿」として描いたものですので、基本的には掲載したいと考えています。 しかしながら、第３次島田市総合計画の策定方針として、「人口減少、少子超高齢社会への対応と課題の克服」と「持続可能なまちづくり」を掲げており、「2050 年未来の姿」がこうした策定方針にふさわしいかどうかを検討したいと思います。

14	
委員名	寺尾委員
大分類	全般
小分類	注釈
意見	第３次島田市総合計画書（案）の全編を通してカタカナが多い印象がある。 これらについて、注釈は付く予定か。
回答	今後、第２次島田市総合計画後期基本計画と同様に、ページ下部に注釈を掲載する予定です。どの用語に注釈を付すかは現在調整中です。

15	
委員名	岡本委員
大分類	基本計画
小分類	分野別まちづくりの方向性
施策の柱	7-1　便利で魅力あるまちをつくる（都市計画）
施策	2　地域特性に応じた拠点の整備を推進します
意見	県の「空港ティーガーデンシティ構想」については、ここ数年間進捗が見られない。実現が難しいのではないか。
回答	本構想の実現は空港周辺地域の活性化に資するものであると認識していますので、引き続き実現に向けて県に働きかけてまいります。